

編集後記

12号が2008年刊、今回の13号は2010年となってしまった。執筆者の方にはご迷惑をおかけするが、刊行年月日が年末なのに、年度末刊行という今までの遅れのために、「人文地理」誌の学界展望に不採用になることが時々生じた。実態にあわせて発行年を変更させていただいた。寄稿いただいた各論考、本誌にふさわしい内容と自負している。感謝したい。

ところで、私事になり恐縮であるが、所属する都市研究プラザは、その設計に深くかかわったが、都市計画、住居学、建築学、都市経済、都市政治学、都市行政学、都市地理学、都市社会学、都市史、芸術学をベースに、都市立の大阪市立大学において都市研究の世界的殿堂、というよりはもっとアクティブな社会実験道場を作ろうとしたものであった。創造都市と社会包摂をかかげて、うまくグローバル COE にも採択され、14の国籍からなる60名近くの若手研究員が集まる Center of Excellence となった。今年からは、無謀かもしれないが、Elsevier 社をまきこんで、City, Culture & Society という雑誌も、都市研究プラザから発行することになった。こうしたいろんな分野の研究者が集まり、多くの国際シンポ企画や調査、雑誌の寄稿などをお願いするにあたって、英語圏の地理学者の名前がやたら登場し、話題に上るのには、驚きを禁じ得なかった。要するにコモンウェルスの地理学の幅広さと、都市研究プラザの実態がかなり相似しているところに達したのかもしれない。関係教員は10数名にのぼっているが、本来の地理学の馬力というのは、こうした規模での幅広い研究分野をもっていてしかるべきなのだろう。その意味では、意図していなかったが、あちら流地理学教室が大阪の地にできてしまったことになる。今後はそうした隣接分野の方々からの寄稿も本誌は受けてみたいものである。引き続き編集協力をいただいている四井恵介さんの(有)地域・研究アシスト事務所に大変お世話になった。いつものことながらお礼申し上げたい。PDFでの閲覧はURLを参照していただきたい。

<http://www.lit.osaka-cu.ac.jp/geo/ja/pub.html>

「空間・社会・地理思想」第13号編集代表者 水内俊雄

空間・社会・地理思想 第13号

発行日 / 2010年3月26日

編集 / 科学研究費基盤研究(B)「公共性とガバナンスからみた近・現代社会の空間編成に関する研究」

(研究代表者 高木彰彦)

編集代表者 水内俊雄

編集協力 / (有)地域・研究アシスト事務所

<http://www.cr-assist.net/>

発行 / ©高木彰彦

九州大学大学院人文科学研究院地理学講座

〒812-8581 福岡市東区箱崎6-19-1

電話&ファックス 092-642-4476

takagi@lit.kyushu-u.ac.jp

印刷 / ホウユウ(株)

<http://www.for-you.co.jp/>
